

リスク				機 会		対応策
移行リスク	政策・規制	炭素税導入/炭素排出規制によるCO ₂ 排出コスト負担	機会へ 転換可	エネ ルギー	CO ₂ 排出量削減による競争優位性の構築	・従来より継続してきた省エネ・省資源化、再生可能エネルギー導入、燃料転換をさらに推進することで、CO ₂ 排出量を削減する
	技術/ 市場	サプライチェーン上流の脱炭素化や 原材料不足への対応	リスク 低減策	レジリ エンス	原材料や調達先の適切な管理による競争優位性の構築	・購買ガイドライン作成など、サプライヤ管理を行うための仕組み・体制を構築する ・従来より継続してきた資源循環対策により、資源の効率的利用を推進する
	技術/ 市場	サプライチェーン下流の脱炭素化による 製品市場縮小/環境配慮製品開発の遅れ	機会へ 転換可	製品・ サービス	環境配慮製品の開発・販売による脱炭素需要の取り込み	・環境配慮製品や新製品の開発・販売を加速させる ・製品使用時のCO ₂ 排出量を削減できる電子材料や、水素・アンモニア燃焼タービンに対応するセラミックコアを販売 ・省エネ装置の販売や、水素・アンモニア燃焼炉などの開発を推進 ・環境負荷の小さい原材料を使用した製品や、研削効率向上により使用時のCO ₂ 排出量を削減できる製品の販売を促進
				市場	環境関連の新市場において、新製品の開発・販売による脱炭素需要の取り込み	・再生材の利用などバージン材を減らした食器を販売 ・燃料電池関連部材・水素製造関連部材を研究開発 ・CCUS*関連製品を研究開発
	市場	エネルギーコストの上昇	機会へ 転換可	資源効 率/エネ ルギー	エネルギーコスト上昇への対応による操業コストの抑制	・生産効率の見直しによる省エネ化を推進する ・保有する太陽光発電設備の活用を進めるほか、太陽光発電設備設置等により再生可能エネルギー導入を加速させる
	市場	内燃機関関連需要の低下	同時に 発現	製品・ サービス	ZEVの普及拡大に伴う関連製品需要の高まり	・ZEVの普及により関連製品の市場が拡大する中、半導体、電子材料および電池関連事業を拡大させる
物理的リスク	評判	環境対応の遅れによる「ノリタケ」ブランドへの影響	機会へ 転換可	製品・ サービス	環境配慮イメージを軸にした「ノリタケ」ブランド力の向上	・TCFD提言に基づく情報開示や環境配慮製品の開発・販売等、投資家や市場に対しわかりやすい形で環境対応の目標を掲げ、取り組みを明確にする
	急性	自然災害による操業停止	リスク 低減策	レジリ エンス	サプライチェーンの強靱化	・立地から当社グループ拠点の被害の程度は限定的と見込まれており、安否確認や避難訓練も適宜実施している ・引き続き、当社グループ全体としてのリスク管理体制を強化する
	慢性	海面上昇時の高潮発生による操業停止				
	慢性	熱中症の増加	リスク 低減策	レジリ エンス	安全衛生水準の向上	・当社グループ全体として、安全衛生の観点で室温コントロールや水分補給の徹底など、リスク管理を推進する

※CCUS:Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage